



伊藤 洋平 議員



録画映像

**質問1** 通所型サービスC事業を実施してはいいかがか

**市長** 直ちに事業実施に向けて検討してまいります

**問** 少子高齢化社会が進む日本で、今後も割合が増え続ける高齢者がなるべく介護を必要とせず自立した生活を送れるようにするには、早期の予防策を打つことが大切です。

今後さらにも進む高齢化社会に対し、個々のニーズに合った介護予防を目指すには、その状態に合った様々な施策を講じていかなければならないと考えます。

そこで、市ではまだ行っていない介護予防サービスの中にある民間のフィットネスクラブなどを利用した通所型サービスC事業を実施してはいいかがかと考えます。

専門的な知識を有する方に指導を行っていたとき、退院された方や足腰やしゃくが弱ってきた方たちがこれからも健康に生き生きと暮らすために、新たな選択肢として選ぶことができれば、高齢者の生活の質の向上につながると思います。

市長のお考えをお伺いします。



通所型サービスCの実施風景（民間施設）

**答（市長）** 通所型サービスC事業は、要介護状態になる前に、利用者の日常生活に支障のある点を改善するため、個々の利用者に応じて、医師や保健師などの助言を受けながら、理学療法士などの専門職が作成したプログラムに基づき、短期間で集中的に実施する介護予防サービスです。

市では、通所型サービスC事業の実施については、理学療法士などの専門職の確保が課題となっており、現在のところ事業の展開ができていない状況です。

一方、団塊の世代が75歳となる2025年問題が迫り、新たに要支援となる方やチェックリストによる事業該当者が増加することが見込まれることから、個々のニーズに合った介護予防を行うことは

喫緊の課題となっています。

こうした現状を受け、通所型サービスC事業は、通所型サービスを利用する方の新たな選択肢の一つであることと、介護予防や健康寿命を伸ばすことを目的としていることから、提供すべきサービスの一つと考えており、早期にサービスの供給体制の確保に努めるため、あらためて介護事業所や民間のフィットネスクラブへの意向等を調査し、直ちに事業実施に向けて検討してまいります。

**質問2** リニューアルされる運動公園のコンセプトは

**市長** 次世代に引き継ぐ運動公園をコンセプトに計画している

**問** 北斗市運動公園のリニューアル事業が令和8年からの全面利用開始予定で進められています。

市民の皆さまからも非常に期待が持たれる中、あらゆる可能性を想定して進めていくべきと考えます。

そこで何点かお伺いします。

(1) スポーツイベントやお祭りなどが実施できる多目的広場としての活用も考えられますか。

(2) 遊具、または建造物に地元の木材などを活用したものを設置されてはいいかがかと考えますが予定はあるのか。

(3) 他の運動公園と差別化を図るべく、コンセプトを持って進められているのか。

(4) 施工にあたり、地域住民の要望などを取り入れて実施されているのか。

**答（市長）** (1) 今回のリニューアル工事では、現在の自由広場を再整備し、みんなの広場と呼ばれる、約3千600㎡の全面天然芝グラウンドとする予定です。

この広場は、スポーツイベントやお祭りでも利用することも可能です。

(2) 木製遊具は、経年劣化で腐食するため、長期間供用可能なプラスチックやステンレスを用いた遊具を設置する予定です。

建造物については、鉄筋コンクリート構造のため、外装材としては利用できませんが、内装材としては利用可能ですので、建築工事の際にはできるだけ地元木材の活用を心掛けてまいります。

(3) 令和元年度に策定した基本設計では「スポーツ・遊びを通して市民をつなぎ、次世代に引き継ぐ運動公園」をコンセプトとして計画しています。

(4) 令和元年度の基本設計の中で、ワークショップを設置し、現状の課題を整理把握した上で公園の将来像を描いていたので、き反映しています。

また、令和2年度には基本設計に基づいた整備構想を市ホームページに公表し、パブリックコメントの募集を実施しており、取り入れることができるご意見については、令和3年度の実施設計の中で修正し、今年度から工事着手しています。

## 一般質問

